

**TOSHIBA**

Leading Innovation >>>

# 2015年度 第1四半期 決算説明資料

2015年 8月 4日  
東芝テック株式会社

---

# 1. 2015年度第1四半期 決算

## 2. 2015年度 業績見通し

## 3. リテール事業概況

# 業績概要

- ✓ 1Q実績は、対前同で増収減益
- ✓ 1Qの実績を踏まえ、15年度通期の売上高、損益ともに業績予想を下方修正。あわせて配当予想を修正

- **売上高**                    **1,264億円**    (対前同 +55億円)  
為替の影響および海外プリンティング事業が堅調に推移したことにより5%増収
- **営業損失**                    **△19億円**    (対前同 △65億円)  
海外リテール事業で前年下期からの粗利減や費用増が継続したこと、ならびに国内リテール事業の粗利減等の要因により、△19億円の営業赤字
- **親会社株主に帰属する四半期純損失**    **△52億円** (対前同△68億円)  
地域別収益構造が著しく不均衡になったことにより法人税等16億円を計上した結果、△52億円の最終赤字
- **通期業績**  
通期業績予想を売上高5,550億円(対前回予想△50億円)、営業利益190億円(同△60億円)に下方修正
- **配当**  
配当予想を年間4円に修正(前回予想は年間8円)

# 2015年度第1四半期 業績

(単位：億円)	15年度 1Q実績	14年度 1Q実績	差異 対前同
<b>売上高</b> (伸長率)	<b>1,264</b>	<b>1,209</b>	<b>+55</b> 105%
<b>営業利益</b> (△は損失) (対売上高比率)	<b>△19</b> (△1.5%)	<b>46</b> (3.8%)	<b>△65</b> (△5.3%)
<b>経常利益</b> (△は損失) (対売上高比率)	<b>△27</b> (△2.2%)	<b>33</b> (2.7%)	<b>△60</b> (△4.9%)
<b>税金等調整前四半 期純利益</b> (△は損失) (対売上高比率)	<b>△33</b> (△2.6%)	<b>32</b> (2.6%)	<b>△65</b> (△5.2%)
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b> (△は損失) (対売上高比率)	<b>△52</b> (△4.2%)	<b>16</b> (1.3%)	<b>△68</b> (△5.5%)
<b>為替レート</b> (円) US\$	<b>120.95</b>	<b>102.40</b>	<b>+18.55</b>
EUR	<b>132.74</b>	<b>140.59</b>	<b>△7.85</b>

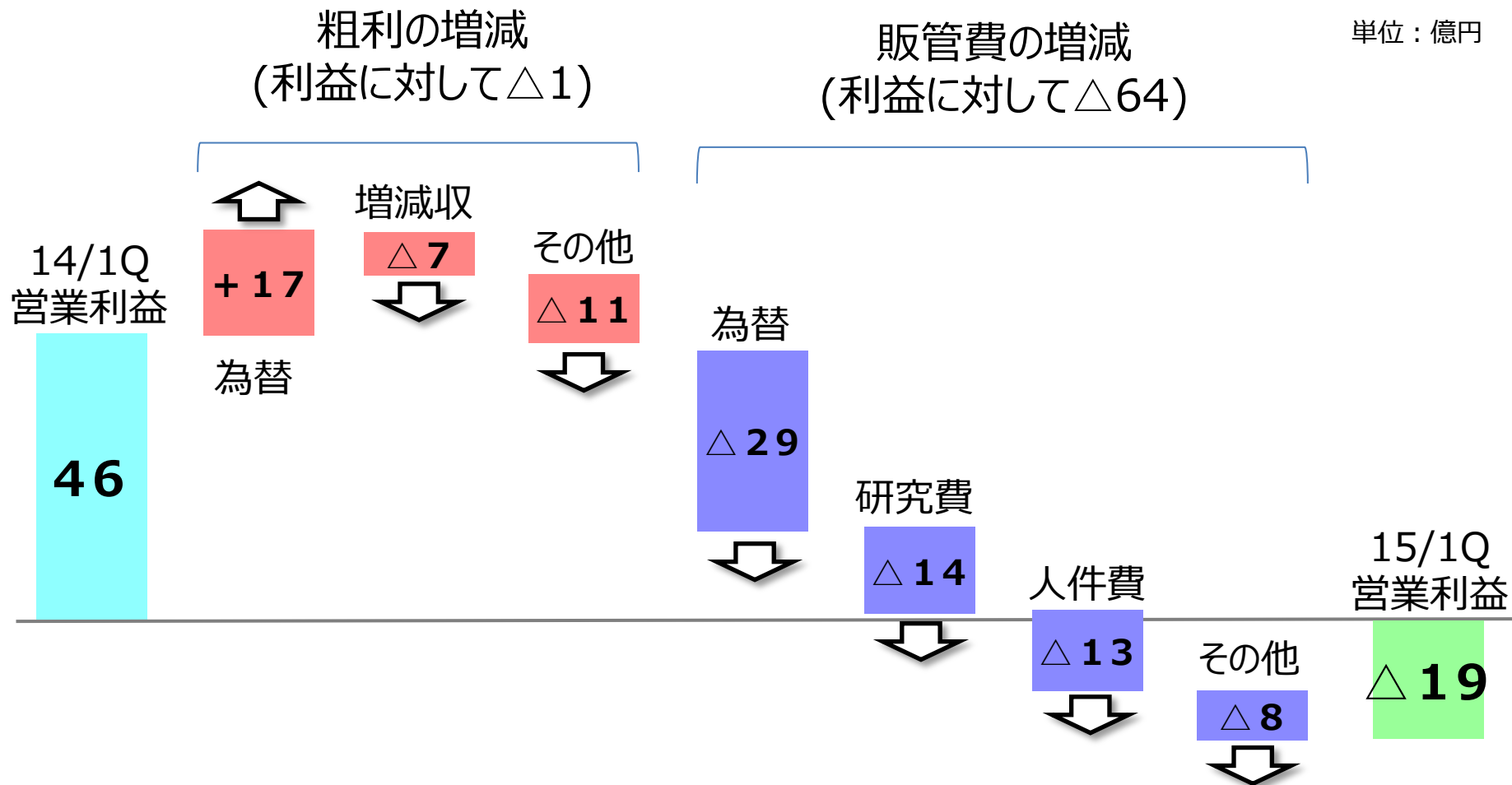
# セグメント情報 売上高・営業利益

	(単位：億円)	15年度 1Q実績	14年度 1Q実績	差異 対前同
リテール ソリューション	売上高 (伸長率)	757	750	+7 101%
	営業利益(△は損失) (対売上高比率)	△52 (△6.9%)	12 (1.6%)	△64 (△8.5%)
プリンティング ソリューション	売上高 (伸長率)	539	493	+46 109%
	営業利益 (対売上高比率)	33 (6.3%)	34 (6.9%)	△1 (△0.6%)
全社	売上高 (伸長率)	1,264	1,209	+55 105%
	営業利益(△は損失) (対売上高比率)	△19 (△1.5%)	46 (3.8%)	△65 (△5.3%)

(注)14年度1Qの実績は新セグメントに組み替えて表示しています。

# 営業利益の増減分析(対前同)

為替の影響は、原価・販売管理費あわせて△12億円  
営業利益悪化要因は主に販売管理費の増加



---

1. 2015年度第1四半期 決算

2. 2015年度 業績見通し

3. リテール事業概況

# 2015年度 業績見通し

(単位：億円)	15年度 今回予想	15年度 前回予想	14年度 実績	差異	
				対前回	対前年度
売上高 (伸長率)	5,550	5,600	5,253	△50 99%	+297 106%
営業利益 (対売上高比率)	190 (3.4%)	250 (4.5%)	187 (3.6%)	△60 (△1.1%)	+3 (△0.2%)
経常利益 (対売上高比率)	160 (2.9%)	220 (3.9%)	120 (2.3%)	△60 (△1.0%)	+40 (0.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益(△は損失) (対売上高比率)	30 (0.5%)	70 (1.3%)	△3 (△0.1%)	△40 (△0.8%)	+33 (0.6%)
為替レート(円)					
US\$	120.00	120.00	109.16	±0	+10.84
EUR	130.00	130.00	139.43	±0	△9.43



# セグメント情報 2015年度業績見通し

	(単位：億円)	15年度 今回予想	15年度 前回予想	14年度 実績	差異	
					対前回	対前年度
リテール ソリューション	売上高 (伸長率)	3,410	3,500	3,251	△90 97%	+159 105%
	営業利益 (対売上高比率)	47 (1.4%)	130 (3.7%)	13 (0.4%)	△83 (△2.3%)	+34 (1.0%)
プリンティング ソリューション	売上高 (伸長率)	2,340	2,300	2,131	+40 102%	+209 110%
	営業利益 (対売上高比率)	143 (6.1%)	120 (5.2%)	174 (8.2%)	+23 (0.9%)	△31 (△2.1%)
全社	売上高 (伸長率)	5,550	5,600	5,253	△50 99%	+297 106%
	営業利益 (対売上高比率)	190 (3.4%)	250 (4.5%)	187 (3.6%)	△60 (△1.1%)	+3 (△0.2%)

(注)14年度の実績は新セグメントに組み替えて表示しています。

---

1. 2015年度第1四半期 決算

2. 2015年度 業績見通し

**3. リテール事業概況**

## 1. 経営体制の見直し

- 全社組織体制の再編/地域別営業・サービス体制への変革
- ロジスティクスの改善を含めた商流の効率化

## 2. 安定した収益性の早期確立

- 海外事業における一時費用の終息/海外事業を中心とした構造改革
- 海外メンテナンス・サービス体制の強化/国内外の連携による商品力の強化

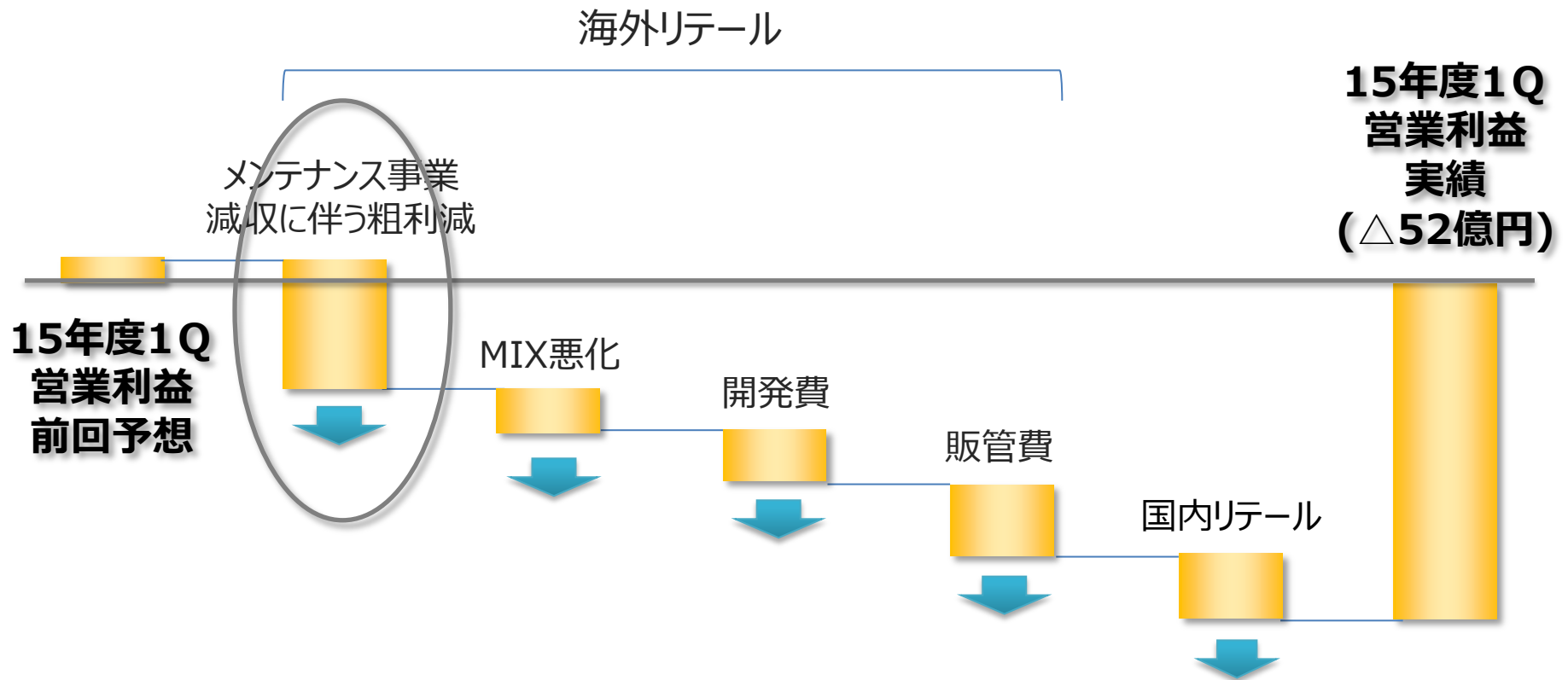
## 3. 従来事業分野の強化

- (国内) 消費増税対応/大手物件入替対応/インバウンド対応/省人化対応
- (海外) 大手顧客対応/BP支援強化/アジア・欧州運営体制強化/省人化対応

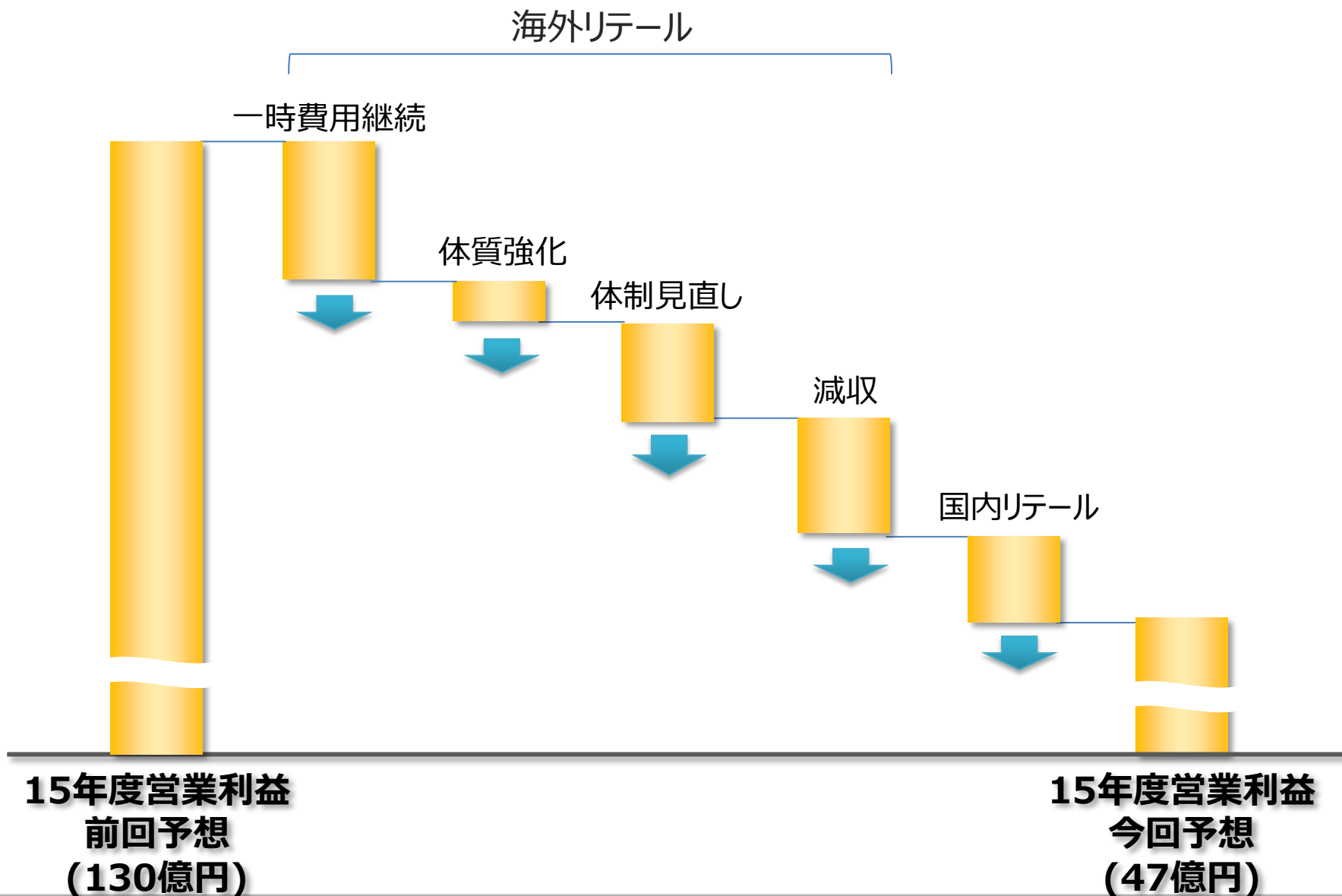
## 4. 新規成長分野(ソリューション事業)拡大加速

- オムニチャネル対応ソリューションの拡充/受注済ソリューション事業の早期導入
- 地域ローカルフィット商品・ソリューションの拡充
- メンテナンス・サービスにおけるメニューの拡大(TPM等)
- データ活用ソリューション事業の早期拡大

# リテール事業 15年度1Q営業利益の増減分析(対前回予想)



# リテール事業 15年度営業利益の予想見直し(対前回予想)



# Human Smart Community

by Lifenology – the technology life requires



---

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

**TOSHIBA**

**Leading Innovation >>>**